

「住まい」のことなら何でもご相談ください

名寄地方は、冬はとても寒く大雪に見舞われ、夏は猛暑にもなる厳しい自然環境の地域です。その中で「住まい」は、私たちの日常生活の基盤となる大切な場所です。

私たち「なよろっぽい家づくりの会」は、平成14年に名寄市内の建築に携わる13の会社・工務店で、このような「寒冷地向けの住宅」を、より多くの市民の皆さまに知っていただくとともに、「利用していただきたい」という目的でつくった会です。名寄地方の厳しい気候・風土でも快適に過ごせる「住まい」、維持経費の少ない「住まい」そして、いつまでも安心していただけるアフターケアのあり方を長い間研究してきました。

住宅の新築は、ほとんどの方にとって一生に一度のことです。そのため施工業者選びは特に重要です。住宅計画に際しては「工事」だけでなく、その後の長く続く「アフターケア」も同時に検討いただきたいと思えます。

市内業者は、雪対策も十分考えた快適に暮らせる建築技術のほか、特に長く満足いただけるアフターケアの提供に努めており、地元の電気屋や設備屋と

も連携し、何か不具合が生じたときもすぐに駆け付けます。

また、新築・リフォームなどを市内業者に発注すると、その現場では地元の方に働く場が創出され多くの人(土木・大工・電気・塗装工事など)が雇用されます。そして、業者は市内で建築資材を調達・購入します。

このように、住宅産業は市内に大きな経済効果を創出します。

私たちは「なよろっぽい家づくりの会」を多くの方に知っていただくため、住まいに関する相談会の実施や各種イベントに参加するとともに、本紙面で、市民の皆さまに住宅に関する情報を提供していきます。

これを機会に新築やリフォーム・住まいの悩み事などについて、ぜひ、私たちにご相談ください。

なよろっぽい家づくりの会 代表 松尾 薫

■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局  
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)  
☎01654⑨6711

今月の手話 

平成27年3月に「名寄市みんなを結ぶ手話条例」が施行されました。このコーナーでは、市民の皆さまに、手話を親しんでいただくために、毎月1つずつ、手話を紹介します。

◆問い合わせ 社会福祉課(名寄庁舎2階)  
☎01654③2111(内線3225)

その16「夏」



うちわであおぐ動作をイメージして、右手をグーにして、うちわを2回あおぐようにします。



解説

「暑い」「南」も、同じ手話表現です。



今月の講師

上川北部聴覚障害者協会名寄支部(※)

森 興市さん

※名寄近郊に住む聴覚障がい者の会です。